



2020年3月13日(金)

1年間ありがとうございました

じっくりと1年間のまとめをして、年長児の卒園をみんなで祝福してあげたい時期に、インフルエンザ発症でそれもないませんでした。全世界的に拡散する新型コロナウイルスの暗い影を払拭するようなエネルギーを子どもたちの力に期待したいと思います。このようなときにこそ子どもが生まれ持って備えている無限の可能性が真価を発揮するのではないでしょうか。今までも「運動会で応援団をやりたい」「みんなが楽しめるスイミーの街を作りたい」「友だちが入学する小学校を見ておきたい」などと、大人の感覚だけでは思いつかない提案を次々にして実現してきました。

ウサギ小屋製作を母と子の会大掃除の時にご協力をお願いしましたが、その後を年長児が頑張って引き継ぎ、自由遊びの時間を使って、小屋の骨組みづくりと、金網の釘打ち付けに大活躍しました。材質によってはなかなか入らなくて、「もう、手が疲れちゃったー！」と言われ、園長が仕上げを手伝う部分もありましたが、ほとんどの子が曲がっても何度も修正しながら、「やったー！最後まで打ったよー」と満足げに終了していました。このような粘りで小学校でも大いに楽しんでください。



年長児の組体操や、発表会のたくましい姿を見ながらあこがれてきた年中児は体操の技を真似たり、玉入れのやり方を教わったりしてその後を追ってきました。ただ、教わるだけでなく、恐竜や動物の粘土づくりは迫力ある作品をたくさん作って「〇〇君すげー恐竜博士みたい」と年長児も一目置くほどで廊下へも展示されていました。虫が大好きな男の子も多く、「カマドウマ捕まえたから、水を入れてちょうだい」と大事そうに見せに来てくれました。

また、年度途中で転入してきたお友達も多く、園舎を案内したり、「お昼いっしょに食べよう」と給食に誘ったりと、どの子に対しても温かく迎えて歓迎していました。年少児や未満児も含め、砂場遊びや鬼ごっこなどで良きリーダーとなっていました。



ついこの間入園したばかりと思っていた、年少児も頼もしいお兄さん、お姉さんになり、未満児との散歩で優しく手を取って公園まで行き、土手すべり、虫探し、焼き芋屋さんなどを楽しんでいました。また、年長児には喫茶コーナーやお姫様、王子様などの着せ替えコーナーで大いに楽しませてもらっていました。

保育士だけでなく、バス乗務員、給食調理員など生活に関わる職員にも関心を寄せて毎日のように、事務室の職員写真を見ながら「これは〇〇先生、これは△△先生……これは？」などと知っている職員の名前を呼んだり、知らない職員の名前を尋ねたりして人間関係の世界を広げていました。

道路を隔てた保育園舎にいる未満児はお誕生日会、クリスマス会、発表会などのイベント時はもちろん、日常の自由遊びでも幼稚園舎や園庭によく遊びに来て年少以上のお兄さん、お姉さんともかなり馴染んでいました。0歳児でも積極的に関わってすっかり園の人気者になっている子もいます。また、ビオトープのメダカやタニシなどの生き物に大変興味を持ってよく観察していました。生き物の姿が見えない冬は、氷をとったり割ったりする楽しみも発見していました。

それだけでなく、年少以上のお兄さん、お姉さんも朝の自由遊びでは、保育園舎に出かけてマット遊び、積み木遊びなど、共に楽しんでいました。これからも年齢を超えて大いに交流してほしいですね。

子どもたち、保護者の皆様に支えられながら本年度を終えることができます。ご理解、ご協力ありがとうございました。春休み中は感染症、事故等に遭うことなく健康、安全に留意して元気にお過ごしください。



～ お 知 ら せ ～



☆☆新年度4月園だより配布について☆☆

4月1日(水)が保育始めで2号、3号認定の園児は登園しますので4月園だよりを配布します。1号認定のご家庭には13日(月)の始業式に配布します。なお、ホームページにも掲載しますので、保育方針、職員組織などをご確認いただければと思います。